

平成29年度自転車文化センター 第2回テーマ展示

クラシックからキャラクターまで『ミニチュア自転車展』



- ◇開催期間 : 平成29年8月2日(水)~10月29日(日)迄
- ◇開催会場 : 自転車文化センターギャラリー及びライブラリー
- ◇開催時間 : 午前9時30分から午後5時(最終入館午後4時45分)
*月曜日休館(月曜が祝祭日の場合、翌平日)
- ◇入 場 料 : 無料
- ◇内 容 : 自転車文化センターが所蔵しているクラシック自転車やキャラクター自転車、映画のモデルになった自転車など、大小様々なとても精巧に作られたミニチュア自転車数十点を展示いたします。本物の自転車との比較をお楽しみください。

『夏休み自転車教室 in 科学技術館』開催！

自転車文化センターでは、毎年夏休み期間中に自転車の科学教室を開催しておりますが、今年は、科学技術館の実験スタジアムで開催することが決定しました。

「走っている自転車は、何故倒れないの?」、「自転車はどんな素材で作られているの?」といった身近な乗り物である自転車の疑問について、本センター学芸員の谷田貝が分かりやすくお伝えします。自転車のことをもっと知りたい方やお子様の自由研究のテーマとしてもお勧めの教室です。ぜひ、ご参加ください。



◇開催日程：平成29年8月21日(月)、22日(火)

◇開催時間及びテーマ：

第1回 12:45~13:25(開場 12:25)「自転車は何故倒れないのか？」

第2回 14:30~15:10(開場 14:10)「自転車の素材を調べてみよう」

また、どちらの回も「正しい自転車の乗り方」のお話しいたします。

◇開催会場：科学技術館4階 実験スタジアムL

東京都千代田区北の丸公園 2-1(開館時間:9:30~16:50*最終入館 16:00)

◇参加料：無料 ※ただし、科学技術館の入館料が別途必要となりますので、ご注意ください。
大人 720 円、中学・高校生 410 円、子ども(4 歳以上)260 円

自転車文化センター特別展示

「七月の輪祭〜ツール・ド・フランス〜」を開催しました。

本センター・ギャラリーにおいて、毎年 7 月に開催される世界最高峰の自転車ロードレース大会 ツール・ド・フランスをテーマに展示を実施いたしました。株式会社ジェイ・スポーツ様や 2017 さいたまクリテリウム実行委員会様等にもご協力いただき、大好評の展示となりました。



♪平成29年度テーマ展示開催予告♪

◇平成29年度第3回テーマ展示

■＜女性用自転車の変遷展（仮称）＞

平成29年12月～平成30年2月末（予定）

◇今後、テーマ展示以外にも特別展示を開催予定です。どうぞ楽しみに！

新着図書のご案内

「MOUNTAINBIKE ACTION 32-2」
「折りたたみ自転車&スモールバイクCUSTOM/パーツチェンジで愛車が大変身！2017」(辰巳出版)
「最新ロードバイクメンテナンス入門/プロが教える基本とテクニック」(鎗木裕 著/コスミック出版)
「17 ロードバイクオールカタログ」(柘出版社)
「17 ロードバイクインプレッション」(柘出版社)
「17 超はじめてのロードバイク」(辰巳出版)
「弱虫ペダル 47」(渡辺航 著/秋田書店)
「弱虫ペダル 48」(渡辺航 著/秋田書店)
「MOUNTAINBIKE ACTION 32-3」
「弱虫ペダル 49」(渡辺航 著/秋田書店)
「子供自転車スタートBOOK/買い方、乗り方、走り方のすべてがわかる！」(柘出版社)
「バイクパッキングBOOK/軽量バッグシステムが創る新しい自転車旅」(北澤肯 著/山と溪谷社)
「超はじめてのマウンテンバイク」(辰巳出版)
「大人のロードバイク入門」(柘出版社)
「ロードバイク「規格」便利帳最新版」(柘出版社)
「17 ロードバイクパーツカタログ」(柘出版社)
「17 ロードバイクベストバイク」(八重洲出版)
「MOUNTAINBIKE ACTION 32-4」
「最新ロードバイク購入完全ガイド/徹底インプレッション 33 台&2017 最新モデル 2017-2018」(コスミック出版)
「勝つためのロードバイクセッティング」(辰巳出版)
「ニッポンのじてんしゃ旅/青森行くべえ。青森サイクリングガイド vol.2」(八重洲出版)
「ロードバイクツーリング読本/ロードで旅するノウハウ満載！」(柘出版社)
「自転車完全ガイド」(晋遊舎)
「街乗り&通勤自転車バイブル」(柘出版社)
「BSM Bicycle Style 11」(笠倉出版社)
「17 クロスバイクスタートブック」(コスミック出版)
「MOUNTAINBIKE ACTION 32-5」
「ぜんぶわかる！最新ロードバイクメンテナンス超入門」(学研プラス)
「2017 折りたたみ自転車&スモールバイクカタログ/欲しい自転車に出会える！」(辰巳出版)
「2017MTB & パーツカタログ/プロもミッドファットに期待！最新トレンド&一押しプロダック」(柘出版社)
「2017smart バイシクル/自転車デビュー超入門！」(宝島社)
「ロードバイク本音のホイール論」(宮本司・田中良忠 著/洋泉社)
「あかい自転車/ビッグ・レッドのながい旅」(ジュード・イザベラ/シモーネ・シン 著/六耀社)
「ちずたび京都と出会う自転車BOOK市内版」(環境市民 著/西日本出版社)
「弱虫ペダル 50」(渡辺航 著/秋田書店)
「かわうその自転車屋さん 4」(芳文社)
「自転車日和 43」(辰巳出版)
「2017-2018 サイクルパーツオールカタログ」(八重洲出版)
「誰でもはじめられるクロスバイク&ロードバイク」(成美堂出版)
「MOUNTAINBIKE ACTION 32-6」
「BICYCLE PLUS Vol.20 バイクパッキング大全」(柘出版社)
「ロードバイク超トレーニング実践ドリル」(山本良介 著/学研プラス)
「LOOP Magazine Vol.23 OLD SCHOOL&NEW SCHOOLBICYCLE」(三栄書房)
「ロードバイクの作法ーやっではいけない64の教え」(竹谷賢二 著/SB クリエイティブ)

< B C C 休館日のお知らせ >

★月曜日休館（祝日は開館し、翌平日が休館となります）

7月31日

8月1日(火)〔臨時休館〕・14日・21日・28日

9月4日・11日・19日(火)・25日

10月2日・10日(火)・16日・23日・30日

「B C C 友の会」会員募集中♪

自転車に関する書籍など、約9000冊を所蔵しています。会員登録をしていただいた方に限り、図書の自由閲覧をすることができます。
会員各位におかれましては、ご友人様などご紹介頂けたら幸いです。

「B C C 友の会 1日利用システム」♪

現在、みなさまにもっと当センターを活用して頂きたく【1日ご利用システム】を設置しております。
是非、ご利用してみたいかでしょうか!?
ご利用の詳細は、B C C H P 又は B C C までお問い合わせ下さい。

～友の会会員証有効期限のお知らせ～

平成28年4月から『会員証』更新時期となりました。つきましては、入会日から2年間、ご来館のない場合は、無効となりますのでご注意ください。また、再入会の際は、新たに入会手続きが必要となります。なお、有効期限など不明の場合は、B C C カウンタースタッフまで、お問い合わせ下さい。

自転車文化センターにご来館の際は、必ず会員証をカウンターまでご提示ください♪



科学技術館入館チケット（招待券）プレゼント！

科学技術館（千代田区北の丸公園）「2F 自転車広場」には、当センター所蔵の歴史的自転車などの常設展示を引き続き行っております。ぜひお立ち寄りください。

♡友の会会員の方に科学技術館入館チケット(招待券)を先着10名様（お一人様2枚まで）に差し上げます。
自転車文化センター(目黒)にご来館のうえ、インフォメーションカウンターまでお申し出ください。

自転車で巡るもう一つの軽井沢

BCC学芸員 谷田貝一男

7月の梅雨明け後のある日の朝9時、軽井沢駅北口デッキに立つとひんやりとした空気が顔に当たり、目の前には愛宕山、左には離山の姿が目飛び込んできます。調べてみるとこのときの東京の気温が28度に対して軽井沢は21度、東京駅からわずか1時間7分で別世界に到着したのです。

デッキを降りると60歳代前半くらいの男性が一人、ちょうど自転車を組み立て終わったところなので声をかけてみました。「これから軽井沢のどこに行かれるのですか」「碓氷峠を下るんですよ。この時期だから北へ向かって上るのは辛いですが、下りだったら楽で気持ちいいですからね」「それはいいツーリングになりますね。お気を付けていてらっしゃい」といって別れたのですが、こういう走り方も確かにいいなと思いながらも自分の足はカラフルなデザインの貸自転車が並んでいる店に向かっていたのです。あれこれと少し迷ったものの結局は誰でも気楽に乗ることが出来る（本当はお値段が安いから）普通のシティサイクルを選び、私もいざ出発です。でもどこへ行こうか。自転車に乗って軽井沢の観光地巡りは様々なガイドブックに紹介されているうえに、できれば坂道を上るのは避けて楽したいという気持ちもありました。



軽井沢駅北口のデッキから見た
離山の姿

軽井沢の駅前には他の駅前でもよく見かけるロータリーになっています。このロータリー交差点、円形交差点とも呼ばれ、中心に島がありそのまわりを一方方向に周回する形の交差点のことですが、このような交差点が軽井沢には他にも数か所あるのを思い出したのです。そこで今回はこれらの交差点を巡ってみることにしました。

1. 軽井沢駅周辺のロータリー交差点を巡る

駅前のロータリーをぬけて中山道との交差点を渡って北の方向に向かう軽井沢本通りは軽井沢の人気スポットである旧軽井沢通りとは異なり、車道も歩道も広くゆったりとした街並みが続いています。なぜかこの通りに立つと、軽井沢に来たという実感が自然と湧いてくるのです。歩道は歩行者通行帯と自転車通行帯に分かれており、レンタサイクルに乗っている他の観光客の皆さんの多くも、自転車通行帯を通っています。都内でも歩行者通行帯と自転車通行帯に分かれた歩道は各所で設置されていますが、歩行者通行帯を通行する自転車も多くみられますので、最初はなぜこの軽井沢ではほとんどの人が通行帯区分をきちんと守って通行しているのかなと思っていました。しかし、路面をよく見ると歩行者通行帯はインターロッキングブロック（装飾用ブロック）、自転車通行帯は透水性舗装になっているため見た目でも通行帯区分が分かるほか、自転車通行帯の方が路面の形状から自転車は通行しやすいという理由もあるのかもしれないと思いながら自転車通行帯を進んでいきました。



この軽井沢本通りを300mほど進んだところにアトリエ・ド・フロマージュというチーズ専門店があります。今日はどんなチーズをお土産に買って帰ろうかと思いながらこのお店の脇を左折します。ごく普通の住宅地の中の道をしばらく進むと三方向が緑に囲まれた最初のロータリー交差点が現れます。ロータリーの中にある島は四差路の中心から一方向に細長く延びているため、北東と南西に延びる道をそのまま曲がらずに進むときだけは島を回る必要がない少し変わった形のロータリー交差点です。

車も歩行者もその姿を見ることがないので、このロータリーを右回りと左回りをしたところ、緑に囲まれてい

るためなのかこれが意外と面白いのです。数周したところで人が近づいてきたため周回を止め、このロータリー交差点から北西に向かって再出発です。



大きな緑の木々の中にこれ又大きな別荘が点在する道を通るので、少しヒンヤリとした感触が得られます。このような大きな別荘にはどんな人が住んでいるのかと想像しながら 300m ほど進むと、六本辻と呼ばれている六差路交差点（よく見ると別荘地に入る道があるので正確には七差路）に着きます。この交差点はラウンドアバウト（環状交差点）になっているのです。2015年6月に改正された道路交通法に関連して、道路交通法施行令第41条の3に自転車の危険行為14類型が示されていますが、その中にこの環状交差点における通行方法が含まれていますので、交差点に入る前には標識・路面標示で、交差点内にも路面標示による通行方向が示されています。交差点の隅でしばらく自動車・自転車・歩行者の通行の様子を見ていましたが、自転車だけは右回り・左回り・車道通行・歩道通行といろいろな通行方法があり、ルール通りに通行している人は極めて少ないのが残念です。



この交差点を西に少し進むと右側に雲場池があります。四季折々の姿をみせてくれる自然が満載の処ということで、入り口に自転車を止めて池畔を散策し、途中の茶店で池を見ながらコーヒーを飲んで暫しの休憩です。

再び六本辻交差点まで戻り、精進場川に沿いながら離山通りを北に向かって進みます。この通りは道幅が広くはないのですがバスも含め車両が多いので、気をつけての通行です。やがて右側に駐車場が見えてきますが、その手前の小さな横道の奥に植込みがあり、それを避けるようにして道が両側に分かれているのに気が付きました。行ってみるとそこも三差路のロータリーになっているのです。こんなところにもロータリー交差点あるというのも軽井沢らしいといえるのでしょうか。この交差点を左折してもそのまま直進しても軽井沢で最も賑やかで有名な旧軽井沢通りの入り口にすぐに到着します。



旧軽井沢通りの入り口も四差路の軽井沢の中では最も大きいロータリーになっています。時刻はちょうどお昼です。旧軽井沢通りは歩行者も多いので自転車を押しながらお気に入りのお店に入ったり食事をしたりするのもよし、なだらかな上りが続く三笠通りを通してさらにロータリー交差点巡りを続けたりするのもよし、さあどう

しましょうか。私は駅前で借りた自転車なので南寄りの緑の多い矢ヶ崎川付近を歩いてゆくと駅まで戻ります。しかし、折り畳み自転車を持参したあなたにはさらにもう一つの軽井沢巡りをお勧めします。それは朝、軽井沢駅前で会った男性の一言「下り」です。午前中のコースでは見る事ができなかった軽井沢の北西にある標高 2568m の浅間山絶景ポイントを「下り」ながら巡ろうというものです。

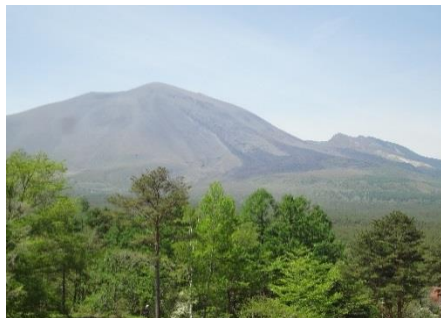
2. 浅間山絶景ポイントを下りながら巡る

昼食を済ませ、旧軽井沢通り入り口のロータリー交差点脇にあるバス停から草津温泉行か北軽井沢行のバスに乗ります。持参した自転車は折りたたんでバスの床下にあるトランクルームに入れることができます。30分ほどで「浅間ハイランドパーク」に着きますのでここで下車します。バスから降りた瞬間、浅間山が目の前に迫ってきます。ここから日本ロマンチック街道とも呼ばれている国道146号線を北上します。この日の14時の気温は東京30度、軽井沢27度に対して標高約1200mの北軽井沢は24度。道路は下りが続いていますからペダルに足を置いておくだけで全身に冷風に近いものを浴びることが出来ます。

1200mほど進むと浅間牧場交差点に着きます。この交差点の右奥にある駐車場に自転車を止め、脇の遊歩道を兼ねた階段を5分ほど登ったところが第2の絶景ポイントです。浅間山だけではなく、北軽井沢の樹林も一望できます。再び自転車に乗る前に、ぜひ浅間牧場茶屋で濃厚な牛乳ソフトクリームを堪能してください。

一息ついたら浅間牧場交差点から西へ4km進むと第3の絶景ポイント、鬼押し出し園に着きます。北軽井沢は東西方向がほぼフラットですから移動も楽です。園内はとにかく広いのでヒカリゴケを鑑賞しながら観音堂を参拝するのもよし、浅間山の麓で自然を満喫するのもよし、ここで打ち切ってバスで帰るのもよしです。また、園内に入らずに第4の絶景ポイントに行くのもよしです。今来た道を3km戻ると変形四差路のロータリー交差点がありますのでここを左折し、なだらかな下り道を800m進むとテニスコートがあります。このテニスコート脇を右折して細い道を500m進むと左にカーブしたところに来ます。ここが穴場である第4の絶景ポイントです。地元の観光協会やホテルなどで配布されているサイクリングマップにも絶景ポイントと記載されています。過去に何回かここを訪れていますが、車や自転車はもちろん、人一人として会ったことがありません。とにかく車も人もほとんど通りませんので自転車を止めていつまでも浅間山を眺めることが出来ます。

時計の針も4時近くになりましたので、来た道をそのまま進み、国道に出てその脇にあるバス停からバスに乗って軽井沢駅に戻ります。こうしてもう一つ、いやもう二つの軽井沢巡りの一日が終わりました。



第2の絶景ポイントから見た
浅間山の姿



穴場である第4の絶景ポイント
から見た浅間山の姿



日本ロマンチック街道とも呼ばれている国道146号線の北軽井沢で見つけた歩道に描かれている路面標示です。車道はバスを含めて比較的通行量が多いのですが、歩道は歩行者も自転車も通行する姿はあまり見かけません。

自転車文化センターは、競輪の補助を受けて事業を行っております。

